令和6年度事業報告書

BUSINESS REPORT

FOREST
Bless to you ...



このパンフレットは、FORESTが運営する障がい者就労支援事業所「branch for pro」が制作しました。

2024年度総括

2024 年度も、当法人の活動に温かいご支援とご理解を賜り、心より御礼申し上げます。
本年度も、昨年に引き続き障がい者就労支援や児童支援、国際支援といった多岐にわたる分野で事業活動に取り組み、それぞれの現場で新たな課題と向き合いながらも、一歩ずつ進めてきた一年となりました。
福祉業界では、全国的に制度見直しや報酬改定が進む中で、安定的な運営と質の高い支援体制の維持がより求められるようになり、特に障がい者就労継続支援 A 型においては制度改正が実施され、変化が著しい年となりました。
2024 年 4 月 1 日から施行された令和 6 年度の障害福祉サービス等報酬改定では、A 型事業所における生産活動を基軸としたスコアリング評価の本格導入や「経営改善計画」「利用者能力向上」など新たな評価指標が加わりました。
これにより、赤字を続ける事業所への報酬減点が厳格化され、特に生産性を確保できない A 型事業所では経営環境が急速に悪化、全国では 2024 年 3 月～ 7 月に A 型事業所 329 カ所が閉鎖され、就労していた約 5,000 人の利用者が解雇・退職を余儀なくされるといったニュースが流れたほどです。この背景には、報酬改定による収入の減少と最低賃金の保証義務が重なり、多くの事業所が経営維持困難に陥ったのではないかと考えられます。
当法人としては、こうした変化と困難を重く受け止め、A 型事業所の体制強化と持続可能な経営の構築に引き続き注力いたしました。利用者一人ひとりの安定雇用を守るため、更なる地域企業との連携強化を進め、A 型ではより広範囲な業務の受託に力を注ぎ、B 型でも A 型との連携作業や新たな業務の取り組みを開始するなど、より一層業務の充実に努めて参りました。
人材確保や収益確保の難しさがある一方で、これまでと変わらず応援してくださる企業さまや団体の皆様のお陰でまた新たな可能性を見出す事の出来た一年ともなりました。

また、国内の児童支援においては、児童養護施設の子ども達への物品支援を強化するため、本年も引き続き赤い羽根共同募金会様と連携しながら、これまで年間 2 施設だった物品支援先を 4 施設へと増やし、より多くの子ども達に物品を届ける事が出来ました。これからも今私たちに出来る事は何かを考え、子どもたちの「今」に寄り添う支援の形を模索していきます。
そしてさらに、海外事業の取り組みとして、これまで支援を続けてきたカンボジア孤児院「チェイホーム」に対する物品等の支援活動も実施いたしました。現地のマナビーさんとも話し、現在のチェイホームに必要な物をお届けすることが出来たのではないかと思います。引き続き新たな支援の形で本年度以降もチェイホームの子どもたちに必要な支援を届けていきたいと思います。
最後に本年度を通じて浮かび上がった課題としては、より柔軟な支援とその発展性、そして更なる ICT の活用、育成体制強化、そして資金の安定的確保など、多方面にわたる運営上の課題がありました。これらを真摯に受け止め、来年度はさらに柔軟かつ実効性のある事業運営を目指してまいります。
2025 年度も引き続き縁や想い可能性を大切にし、いま私たちに出来る最善の方法を探求しながら前に進んで行きたいと思います。
小野塚　舞



障がいのある方への職業訓練・就労のサポートを通じた自立支援

障がい者自立支援推進プロジェクト

障がい者自立支援に取り組む理由

「障がい者自立支援推進プロジェクト」は、苦しい状況にある子どもたち同様、社会の制度や偏見・物理的な障壁などによって困難を抱える障がい者の方たちに対しても、Forestができることはないだろうか、という思いから始まった事業です。
私たちは、障がいを持つ方々への理解とサポートは単に「支援する」だけではなく、共に学び、共に成長していくことだと考えています。

私たちの就労支援事業所のご紹介

Forestが設立した多機能型就労支援事業所「Branch for pro」には、一般就労に近い形で働く「就労継続支援事業所A型」と、柔軟なスケジュールで実務作業の指導や訓練を行う「就労継続支援事業所B型」の部門があります。
A型は事業所に直接雇用され、事業所が請け負った仕事に取り組んでいます。
雇用期間の定めはなく、勤務時間により雇用保険等にも加入できるなど、一般の就労に近い形になっています。
B型は雇用契約を結ばない形ではありますが、利用者と相談のうえ通所スケジュールを調整しながら、実務作業の指導やスキルアップのための訓練及びサポートを行っています。
A型：2018年1月開所　/　B型　2021年1月開所

多機能型就労支援事業所
BRANCH FOR PRO

Branch for proの特徴

ICT特化型

WEB分野（サイト制作・プログラミング）、DTP分野（印刷物の作成、画像加工）、各種業務代行などICTに特化した業務が主体です。
障がい者・スタッフそれぞれの得意分野を活かし、小さな単純作業から総合的な制作まで、幅広く対応しています。

高度な専門性と技術の習得

毎年各種資格の受験者/合格者を排出。「基本情報技術者試験」「日商簿記検定2級/3級」等の保有者が在籍。
また、基本的に業務はチーム単位で取り組むため、コミュニケーション力・発想力・提案力などが求められます。
大型オンデマンド印刷機導入により、中小企業/個人事業主様を対象にしたデザイン～印刷製造のトータルサポートも可能です。

スキルアップしながら自立

札幌圏では、このように専門的な業務が行える就労支援事業所は希少です。
障がい者本人の自立を助けつつ、メンバーそれぞれの得意分野を活かしあうことで事業所自体も成長していけるような、他に類のない場を目指しています。

2024年度を振り返って

継続してお仕事を依頼してくださるクライアント様からの案件を通じた基礎スキルの向上や業務効率化、メンバー同士の技術の教えあいなどが事業所内の文化として根付く一方で、新たに専門学校の講師といった仕事や、サムネイル作成・管理作業を通して「販売」という業態に取り組むことができた年度でした。
また、Branch内のチームの別を問わない横断的な仕事が増加し、事業所としての一体感もより一層増したように感じられます。

次年度以降も、新たな分野の仕事へ積極的にチャレンジし、より多業種のクライアント様を担当できるよう目指してまいります。
就労継続支援B型ではスキルアップへの取り組みと支援を行いながら、在籍者数の増加、通所の安定を目指して取り組んでまいります。

本年度の実績例

[Web系]
- WEBサイト改修(専門学校、葬儀会社)
- WEBサイト制作（K社）
- WEBサイトのドメイン移管＋移設業務 15社
- WEBサイトのバグチェック

[DTP系]
- 名刺制作（E社、H社、S社）
- A4チラシレイアウト（R社）
- 除雪用手旗印刷（R社）
- 会員冊子レイアウト＋印刷＋製本（L社）
- レンタカー用マグネットシート＋ステッカー（E社）
- ECサイト用商品サムネイル制作（N社）
- フリマサイト用商品サムネイル制作（P社）
- 書類画像の加工代行業務

[札幌市より受託]
- 市民文化局(市民生活部)「アイヌ文化交流センター送迎バス」各種媒体デザイン
- スポーツ局_第2期札幌市スポーツ推進計画のデザイン
- 市民文化局(地域振興部)「札幌市NPO法人年報 2024年度版」
- 保健福祉局(障がい福祉課)「障がい者就業・生活相談支援事業所パンフレット 2024年度版」
- まちづくり政策局_ポスター掲示
- 保健福祉局(精神保健福祉センター)「よりどころリーフレット」デザイン
- デジタル戦略推進局_名刺印刷

[業務代行・その他]
- 専門学校　非常勤講師（4月～8月/10月～2月）
- 証拠データ取得・確認作業
- リサイクル商品の修理・クリーニング・販売業務【NEW】
- 販売管理・出品代行業務【NEW】
- 記帳・ファイリング業務
- リライト業務
- ポスター貼り
- 封入作業

[2024年度　合格・就労実績]

Photoshopクリエイター能力認定試験 エキスパート　1名
日商簿記検定試験　2級　1名
ファイナンシャル プランナー　2級　1名
マイクロソフト オフィス スペシャリスト Excel　アソシエイト（MOS）　1名
一般就労　2名



Branch for pro 利用者の声

Branch for pro の利用者の方に、2024 年度を振り返ってのインタビューを行いました！



Web　Iさん
（通所 2年以上）



記帳代行　Kさん
（通所 2年以上）



B型　Mさん
（通所 2年以上）

Q1　今年度 (2024 年 4 月～ 2025 年 3 月) に携わった仕事について教えてください。

パンフレット制作、チラシ・ポスター制作、商品サムネイル画像制作、EC・フリマサイトの出品用文章作成等を行いました。使い慣れないデザインツールを使っての制作でしたが、数をこなすうちに作業スピードやスキルが向上しました。

公的資料作成、記事リライト業務、データチェック、AI を用いた翻訳、SEO 調査、記帳作業などを行いました。リサイクル商品の販売業務（商品の清掃・補修・撮影・出品準備、通販用文章作成）にも新しく取り組んでいるところです。

普段の印刷検品、違法アップロードの調査に加えて、通販出品準備（市場調査等）のお仕事が始まりました。通販出品商品の画像・情報検索と入力において、商品の表記が統一でなかったり情報が少ないものもあった点が大変でした。

Q2　通所開始～現在までの変化や感想、事業所の雰囲気・よかったことなどを教えてください。

通所当時 (コロナ前) は Web 制作の仕事メインだったのが、今では印刷・画像 / 動画編集など様々な仕事に携わることができ事業所の成長を感じています。

利用者同士、スタッフとの距離感もちょうどよく人間関係にストレスを感じることがない上、新しい分野にも挑戦させてもらえるのでこの事業所に入ってよかったと思っています。

事業所で過ごすにつれ、他の利用者の方やスタッフと気軽に雑談する機会が増えたと感じます。

スタッフが親しみやすい雰囲気で声をかけてくれるので、自分からも話しても大丈夫なんだなという安心感があります。

精神的に少し穏やかになったと思います。

事業所は落ち着いた雰囲気で体力的にきついような作業はなく、B 型での仕事は一人で行うものが多かったです。また、定期的にスタッフとの面談があり過去の目標と現在、そして今後の事などを話す時間があるので細かく見てくれているなと感じます。

Q3　今年取得した資格や、今後の目標について教えてください。

Photoshop クリエイター能力認定試験　エキスパートです。
一般企業に就職することを目指しているので体調管理に気を付けながら資格を取得したりスキルの向上に励んでいます。

日商簿記 2 級です。
最近 Web チームで基本情報技術者試験の勉強会を行っているのを知ったのがきっかけで、自分も情報の勉強を始めゆくゆくは資格試験にも挑戦したいです。

朝から動けるようになって、通所を安定させたいです。また、こういった意欲を継続的にもてるようにしたいです。

その他国内プロジェクト

物品支援

私たちは児童養護施設で暮らす子どもたちに、文房具や衣類、おもちゃなど、日々の生活や学びに役立つ物品を届ける支援活動を行っています。
運営当初より取り組んで参りましたこの活動ですが、本年度は2施設から4施設へと施設数を増やし、支援活動を行うことが出来ました。

私たちのこの活動には、いくつかの大切な思いが込められています。
まず、支援を通して子どもたちが「自分は大切にされている」「見守ってくれている人がいる」と感じられること。それは、心の安心や自信につながります。

また、必要なものがそろうことで、子どもたちはのびのびと学び、遊び、自分らしく過ごすことができます。未来への夢や希望を育むためには、こうした環境がとても大切だと思っています。
そしてもうひとつは、社会全体で子どもたちを育てていこうという気持ちを広げていくこと。支援活動は、「誰かのためにできることがある」という一つの気持ちから始まります。

物品の支援は小さなことかもしれませんが、子どもたちの毎日や心にそっと寄り添う、あたたかな応援の形だと私たちは考えています。

寄贈先からのコメント

※敬称略

(社福)常徳会 興正学園



寄贈品：野球用グローブ、ラジコン、カードゲーム等

子どもたちが希望するものを購入し、児童1人だけで楽しむのではなく、複数人で遊ぶことの楽しさをみんなで共有し、成長を育んでいきたいと思います。

(公財)鉄道弘済会 札幌南藻園



寄贈品：五月人形

五月人形を飾る意味を子どもたちに学んでもらうとともに、より家庭的な環境の中で、季節行事を通じて、子どもたちの成長につなげていきたいと思います。

(社福)扶桑苑 柏葉荘



寄贈品：ゲーム機用ソフト

入所児童の充実した余暇を過ごすために、子どもたちが選んだゲーム機用ソフトを新たに購入し、子どもたちの成長を見守り、安心して暮らせる生活ができるように取り組んでいきたいと思います。

(社福)羊ケ丘養護園



寄贈品：オーブンレンジ

オーブンレンジを設置することにより、気軽に機器を使った調理ができ、その調理過程をみることができるため、これまで行ってきた「食育」の取組みも自主性を育むことができたと思います。

ONE PIECE FOR PEACE

ONE PIECE FOR PEACE プロジェクトをスタートしてから丸 11 年が経過し、2024 年度に集まったピースは 23,500 ピースとなりました。プロジェクト開始当初より変わらず応援してくださっている企業さまがいるからこそ、続けられている活動だと実感しております。
2025 年度も引き続き継続して取り組んで参ります。

ONE PIECE FOR PEACEとは

ビジネスにおいて使用されている「名刺」や、「ショップカード」などをチャリティにして頂くことで、1 つあたり 1 円を寄付する事ができる仕組みです。この活動によって集まった寄付金は孤児院や児童養護施設にいる子どもたちのために活用されます。

海外支援プロジェクト

カンボジア孤児院チェイホームに対する支援内容

マナビーさんと話し合いをした結果、本年度は以下の支援内容に決定しました。
尚、補足説明が必要と思われる項目は番号をふり、以下に説明を入れています。

①レサット入寺準備金：200 ドル
②チョモラウンの薬代：300 ドル
③ナロンの生活品支援：50 ドル

④チェイホームの必要物資など
・チェイ台所用品：169 ドル
・お米：60 ドル
・靴、服、教育関連：221 ドル

①



②



③





④



④



④

①レサットが別の孤児院から戻された話は昨年度の事業報告書にて報告済みですが、チェイホームに戻ってからも問題行動（勝手に物を売ってお金を使うなど）を繰り返しており、話し合いを繰り返すも改善されていないことからお寺へ入信させることになったそうです。
その準備金としてお寺に寄付が必要とのことで、今回はその資金に充てる事となりました。
②チョモラウンくんの痛み止め等です
③すでにお寺に入って修行しているナロンくんへの生活品の支援です。

今年は、これまで行ってきたカンボジア孤児院への「運営支援」から、子どもたちの成長に合わせて取り組む「物品支援」へと、支援の形を変え活動を進めてきました。
はじめての試みでしたが、マナビーさんやポッテビーさんの声を聞きながら、必要なものを届けることで、子どもたちの笑顔に出会うことができました。
これからも、ひとりひとりの子どもたちが安心して過ごせるよう、私たちに出来ることを続け、見守っていきたいと思います。

団体概要

世界には、さまざまな理由により「学ぶことができない」「明るい未来を描けない」「自分で選ぶことが許されない」――そんな環境に置かれている子どもたちがいます。

また、障がいを抱えることによって、制度の壁や社会的偏見、物理的な障壁などに直面し、自分の力を十分に発揮できない方も少なくありません。

私たち Forest は、こうした環境や境遇によって可能性を制限されている子どもたちや障がいのある方々に寄り添い、学び・就労・自立に向けた支援を国内外で行っています。

海外の孤児院への運営支援・物資支援を始め、国や地域を越えて、一人ひとりが「自分の人生を選び、自信を持って歩んでいける」社会の実現を目指しています。

私たちの活動によって、「自分らしく生きる力」や「社会の一員としての自信」が育まれ、それが次の世代へとつながっていく――そんな循環支援の輪が広がる未来を願い、私たちは日々活動を続けています。

【活動方針】

-MISSION- 使命

現在（いま）を生きる不遇な環境で育つ子どもたちすべてが、輝ける道を創り、循環支援の輪を生み出す

-VISON- ビジョン

・どんな子どもたちにも平等に夢を
・どんな子どもたちにも未来への希望を
・どんな子どもたちにも無限の可能性を
・どんな未来の子どもたちにも繋がる循環支援の輪を

-CORE VALUE- 基本理念

・子どもたちの可能性を大切にします
・人との繋がり、縁、想いを大切にし、お互いを尊重します
・自らの言動、行動に対し、偽りなく誠実であり続けます
・最善の方法を常に探求します

【団体所在地】

本部：〒 060-0061
北海道札幌市中央区南 1 条西 7 丁目 12-6
T E L 011-272-7716
F A X 011-272-7715

設立日 2013 年 12 月 3 日
法人設立日 2014 年 4 月 8 日
代表理事　小野塚　舞
E - MAIL　info@forest-japan.org
WEB　https://forest-japan.org/
　　https://branch-for-pro.site/

forest　branch for pro

FOREST
Bless to you ...